

# 稲グリ新聞

〈発行〉  
早大グリーンクラブOB会  
稲門グリーンクラブ  
〈編集〉  
加藤 晴 生  
額原 信二 郎  
佐々木 豊  
〒192-12武蔵村山市大南  
2-26-12 額原信二郎方  
TEL (0425) 65-1839  
(毎月1回発行)

## 暖かく、輝かしく

### 「グリーンの灯」をとともそう

会長 福井 忠雄(二九)

文芸春秋十二月号の表紙は、高山辰雄さんの「あかり」という絵で飾られている。作者は表紙絵の言葉で「家のあかりには懐かしいやさしきがある」と書いてある。「だが、人々は知らずに目をひきつけられる」とも書いてある。夕刻ともなれば、点って当然の灯がついていなければ、どんなにか淋しかろうか。

家族ともどもやってきて、楽しい午後をお過ごし下さい。会費は一寸高いように思われますが、いい会場でお料理沢山、メンバーの奇付で年々プレゼントも豪華になっていきますので、必ずモトがとれます。それよりも、大勢の人が集うことで、酒と肴と談笑の裡に、早大グリーンOB会の「灯」を暖かく輝かしくともして戴きたいと思

## 総会の招集

会員各位殿

1988年度早稲田大学グリーンクラブOB会、稲門グリーンクラブの「総会」を次の通り招集します。

1988年11月20日  
会長 福井 忠雄(29)

- 日時 1988年12月11日(日)  
午後2時30分～3時30分
  - 会場 私学会館「赤城の間」(5F)
  - 議題 ①1988年度・活動について  
②同・会計について  
③1989年度・役員改選  
④同・活動について  
⑤その他
- 以上  
(10分前ご参集をお願いします。)

## 来ないと損する「クリスマス」

第七回グリーンクリスマス実行委員長 永井 秀夫(四二)

今年も皆様のご好意で、既にカラーテレビ、CDプレイヤー、高級自転車などの豪華「大物」賞品が続々と集まっております。当然のことですが、当日グリーンズに来ない人には当たりません。これは是非でも参加するべきです。それも、一人より二人、二人より三人の方が当たる確率がグーンと高くなります。

### 子供達のためのプレゼントが

足りません!

でも、まだまだプレゼントが足りません。特に、実用的なもの、子供達が喜びそうなものが少ないのです。これから何を贈ろうかとお考えのあなた、この点よろしく

なお、次のメンバーが今回の実行委員となっておりますので、併せてよろしくお願いいたします。

委員 永井 秀夫(四二)  
佐々木 憲元(四二)  
加藤 久雄(五六)  
岩淵 靖宏(五八)  
石川 了(六一)

## 1989年 年末・年始 活動日程

- 11月21日(月) 拡大幹事会 19:00~ 福井会長邸
- 22日(火) 練習・日本民謡 18:30~21:00 東混練習場
- 27日(日) " 日本民謡他 13:00~16:00 奉仕 園
- 第36回・早大グリーンクラブ定期演奏会 16:30 開場/17:00 開演  
東京厚生年金会館
- 28日(月) OB四連マネ会(4) 19:00~  
資本市場研究会
- 29日(火) 練習・日本民謡他 18:30~21:00 東混練習場
- 12月6日(火) 練習・合同曲 " "
- 7日(水) " " " マリオン会場
- 11日(日) 昭和63年度「総会」 私学会館  
第7回グリーンクリスマス
- 13日(火) 練習・日本民謡他 18:00~21:00 東混練習場
- 15日(木) 練習・合同曲 " プレイス24
- 17日(土) 88マリオン・チャリティーコンサート  
有楽町マリオン
- 19日(月) 東京クローバークラブ  
同志社創立111年記念「第九」演奏会  
サントリーホール

- 1989年  
1月10日(火) 練習始め(4連) 18:30~20:00 東混練習場  
「新年会」 20:00~ 庄  
以後毎火曜日、第7回OB四連に向けて東混練習場で練習

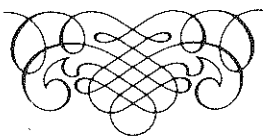
## 今年度総会に向けて

拡大幹事会を開催

今年度の締めくくりと来年度諸活動等を決定する「総会」に向けて、その準備と、当面の行事、グリーンクリスマス、マリオン・チャリティーコンサートの詳細打合せのため、拡大幹事会が十一月二十一日(月)、福井会長邸で開かれる。議題は総会の議事に合わせて、次の通り。

- \*議題(予定)
- ①今年度活動の反省
- ②会計について
- ③来年度活動について
- ④来年度役員改選について
- ⑤その他





# コーラス・イン・マリオン

1988年12月17日(土)午後6時  
有楽町朝日ホール  
(JR有楽町駅前マリオン1階)

## 1 三善晃 作品集

林の中  
めんどり団地のレグホンおばさん  
やがて秋……

桜楓合唱団(日本女子大学合唱団OG)  
指揮=川村幸子  
ピアノ=江口久美子

## 2 ドイツ愛唱歌集

深い谷間に 作曲 ブラームス  
静かな夜に 作曲 ブラームス  
太陽は輝かない 作曲 ブラームス  
ローレライ 作曲 ジルヒャー  
野ばら 作曲 ウェルナー  
眠りの精 作曲 ブラームス

桜友女声合唱団(共立女子大学合唱団OG)  
指揮=鈴木茂明  
ピアノ=富地桂子

## 入場料(全席自由) 1,500円

有楽町朝日旅行センター 03-535-7771  
銀座鳩居堂プレイガイド 03-571-0401  
などで前売中

主催 朝日新聞社  
後援 朝日新聞東京厚生文化事業団

## 3 日本民謡集

斎太郎節 編曲 竹花秀昭  
あんずきまんまき 編曲 小倉一朗  
そうらん節 編曲 多田武彦  
祖谷の粉ひき唄 編曲 玉田元康  
刈干切唄 編曲 石井 歎  
最上川舟唄 編曲 清水 脩  
稲門グリーンクラブ(早稲田大学グリーンクラブOB)  
指揮=土屋信吾

## 4 “みんなで歌おう”

アヴェ・ヴェルム・コルプス 作曲 モーツァルト  
雪の降る町を 作曲 中田喜直  
きよしの夜 作曲 F.グルーバー  
遙かな友に 作曲 磯辺 徹  
エーデルワイス 作曲 R.ロジャー  
赤鼻のトナカイ 作曲 J.マークス  
サンタが町にやってくる 作曲 J.F.クーツ  
ホワイト クリスマス 作曲 I.バーリン  
あら野のはてに 賛美歌  
ペチカ 作曲 山田耕作

3団体合同+お客様  
指揮=耕納邦雄

お問い合わせ — 有楽町朝日ホール 03-284-0131

### ふれあい盛末88「コーラス・イン・マリオン」 二年目の今年がキーポイント ステージ作り頑張ろう！

マリオン担当マネージャー 安斎 真治(四七)

今年最後のステージ「コーラス・イン・マリオン」が、昨年引き続き開催されます。この催しは朝日新聞勤務の中野さん(二九)らを中心とする朝日新聞記念会館の企画スタッフによって、コーラスの楽しさ、面白さをホールのお客様に味わって貰い同時に歳末チャリティの一助になればと、昨年

初めて開かれました。結果は、既にご承知のように大盛会となりました。特に、最後の「みんなが歌おう」のステージでは、舞台と客席が一体となって予想以上の盛り上がりでした。また、朝日新聞の社告でこの催しが打ち出されることもあって、普段とは違ったお客様に私達の演

奏を聴いていただく絶好の機会にもなっているようです。こうした昨年の成果から、今年も朝日新聞(実施主体は朝日新聞記念会館)の主催により再び開催の運びとなったものです。出演は昨年同様、「桜楓」「桜友」「稲グリ」の三団体です。当初、稲グリステージの指揮を予定していた川元さん(五六)がアキレス腱を傷めるといふアクシデントで今回は降板となりましたが、後任を土屋さん(四四)に引き受けていただきました。合同ステージ指揮の耕納さん(三七)共々張り切っています。また、合同ステージでの司会者には、お客様ご指名のあ

初登場・期待の利器、NHKアナの柿沼さん(五三)の両氏を予定しており、今から楽しみます。稲グリとしては、今後もこのマリオンでのコンサートが歳末恒例のコンサートチャンスとして定着すれば、活動の大きな柱となって稲グリも一回り広がることになると思われまます。そのためには第二回目の今年のコンサートこそがキーポイントです。気を抜くことなく是非頑張りたいと思います。コンサート終了後は昨年同様楽しい打上げパーティを予定しています。年末に向かっていますが、忙しい時期ではあります。みなさんで盛り上げて美味しいビールにしたいものです。お誘い合わせご参加を!!

### ★稲グリ初体験★

### オールフォルテシモの特ステ！?

「第十二回早苗会・新制前期合同クラス会」出演記  
B<sub>2</sub> パトリ・早苗会会員  
辻田行男(三七)

去る十一月一日(火)夜、新宿ヒルトンホテルで開催された標記の会の特ステに出演した。この「早苗会」は早大理工学部建築学科の卒業生と学生の会であり、日本の建築会をリードする建築家、技術者が多数入っている。グリOBにも十名弱の会員がいる。新制に移した昭和二十六年から現在までの前半分の卒業生が毎年一回合同クラス会を開いている。今年には昭和四十七年までの卒業生約四千人の内、約五百五十人が出席した。負傷入院した川元君(五六)と急遽交替した耕納(三七)の指揮の下に、メンバー三十三名が「斎太郎節」「そうらん節」「最上川船唄」「遙かな友に」「光る青雲」早稲田の栄光」を力一杯披露し

た。大宴会場に溢れんばかりの人々の内、ステージに近い二百人ばかりがわれわれの歌に耳を傾けているが、それ以外の人は久々の再会で話しに夢中という八十人以上の騒音の中であったので、発声練習のようなオール・フォルテシモの演奏となった。したがって、「遙友」のソロはあえなく省略、それでも何故か激しいアンコールがきて「いざ立て戦人よ」を超響級のフォルテシモで絶唱した。次年度幹事紹介のための小憩の後、最後の締めくくり稲グリと現役応援部員三名、可愛いチアガール二名のリードの下に、出席者全員で「紺碧の空」都の西北を斉唱、数百名の早稲田マンが応援歌、校歌に陶醉している姿は一種感動的であった。閉会后、諸先輩から稲グリと応援部のお陰で非常に良い会であったとの賛辞が多数寄せられ、また、主催幹事からも感謝に堪えないとの挨拶をいただいたことを報告する。

### 出席状況

	10/4	11	18	25	11/1	8	15
T <sub>1</sub>	7	8	9	10	10	11	9
T <sub>2</sub>	10	10	11	12	11	11	10
B <sub>1</sub>	7	4	4	7	4	5	7
B <sub>2</sub>	12	13	13	10	10	9	10
	36	35	37	39	35	36	36

### OB四連マネ会

## 概要決め込み徐々に進む

十一月二日(水)第三回OB四連マネージャ会が開かれた(大手町・日本IBM会議室)。マネ会も回を重ね、徐々に概要が決まってきたが、四団体の協議というところから、なお継続した話し合いが進められている。以下、議題と協議内容。

#### 〈議題〉

- 各団個別ステージ、指揮者  
■ワグネルOB  
「シユールベルト男声合唱曲集」  
指揮 畑中 良輔
- 新月会  
■ミュージカル「学生王子」より  
指揮 亀井征一郎(三七)  
■クローバークラブ  
未定

#### ■稲門グリークラブ

曲未定

指揮 堀 俊輔(五〇)

#### 2 合同演奏について

\*稲グリから、一人の指揮者で音楽的にまとまったステージにしようかという意見があったが、他の三団体は、各団の愛唱歌を一曲ずつ選び、指揮者も各団から出したという意見。

\*この考え方は、第五回OB四連(ワグネル担当・東京)での合同演奏の評価にも関係するが、喜んでくれた人が多かったという解釈から。

\*次回、この方法で行なう場合の愛唱歌を各団一曲ずつ持ち寄る。  
\*エール交換はなくてもいいの

では、という意見の是非を各団検討する。

#### 3 チケット関係について

\*チケット収入として四〇〇万円上限に押さえる形で席割りを考える。

(案)  
指定二〇〇〇円  
自由一五〇〇円

\*招待席は極力絞る。九二席程度か。次回各団からそれぞれの招待者リストを提出する。

#### 4 予算案について

\*チケット収入四〇〇万円として座席数と金額を調整した上で決定とする。座席区分等は稲グリで決める。

\*打上げ費補助を予算案として大きく見込むのは本来おかしいので、基本的には連盟からの割り戻し金を還元するという考え方で、各団独自に打上げ補助について考

える。

\*現在、予算案上では合同のプログラムの指揮者の謝礼は考えない。以上

### 打上げ会場「東天紅」が浮上

演奏会終了後、多くのメンバーが楽しみにしている「打上げ」の会場の選定が難航していたが、この程ワグネルの吉村マネ(五〇)の紹介でふさわしい場所が確保できつつある。十一月十一日に稲グリ清水マネ(三八)と吉村マネとで、上野忍の池にある中国料理店「東天紅」を訪れ、条件面を交渉の結果、ほぼ折り合いが付きそうな内容となったので、第一候補として浮上してきた。同店はワグネル関係でも馴染みの深いところで、相当の便宜も図って貰えそうだとのこと。この案件は、次回マネ回で検討することとなる。

### 日本歌曲二十曲を熱唱

山本健二第五回リサイタル

山本健二さん(三一)の第五回リサイタルが十一月十八日(金)新宿の朝日生命ホールで開かれた。「初恋」「ゴンドラの唄」「叱られて」「落葉松」などだれもが歌い馴染んでいる日本の名曲二十曲を歌い上げた。いつものことながら「日本語の持つ情感をどうメロデーに乗せるか」という言葉の通り、詩が聴く者の耳によく伝わってくる。また、全ての曲を暗譜で通すことに、秘訣は何なのかいつも驚かされる。本業を他に持ちながら、このように「歌い手」として定期的にリサイタルを持ち、しかも成功させる人は稀なのではないか。

### テレビ出演決まる!

このところカセット制作にラジオ出演に忙しい山本さんであるが、今度は新年早々の一月四日朝七時(八時半放送)の日本テレビ「美しき日本の歌」という番組のゲストとしての出演が決まり、「耶子の実」を全曲歌う。

### 緊急!現役定演チケット売れ行き悪し

早大グリー定期演奏会が十一月二十七日(日)、午後五時から新宿の東京厚生年金会館で開かれるが、チケットの売れ行きが芳ばしくなく、現在五、六百枚の残があり苦慮している。稲グリメンバーには十数枚しか出ておらずOB担当も天を仰いでいる。是非ご協力を!

### 大阪稲グリ便り

■オリンピックの年、参加することになり、と弱気の関西コンクール出場(十月十六日)。十五団体中九位。中国から帰ってからの課題曲を四回練習しただけのステージ。厚かましきは年々中年。ステージ終了三十分後は大宴会。それも、東京に転勤したサッポロビール田口(好)先輩(三〇)の送別会。本人は会場をセッティングしただけ。まあ、田口氏だけに飲むことに意義ありか。

■目下山路オペラ「久米の仙人」の特訓中。去年、なぜかキコリの登場に大喝采が起こり、驚いた原作者の山路さん(三二)がキコリの出番を増やし、本人自ら出演と

いう力の入れよう。十一月二十日(日)、柏原市民会館。もちろん前日は泊り込んでの大宴会の予定。

■去年のクリスマスパーティーに参加したシルバークーラスのメンバーから「今年トーマソンのパーティーはいつでっか?オオクッションに出す品物集めて待つてマンネンケンド:」問合せ多数。自粛ムードに便乗して今年もサボッてそのうち新年会でもとのんびりムードの幹事のケツをたたかれる。

■中国よりの帰朝演奏会用にと早々と押さえてあったホールを何とかせよと豊田幹事長、来年二月四日(土)ピロティホールで三大学OBを巻き込んで「ミニOB四連」ということになりそう。その時は全国のメンバーも是非ご参加を!

### 稲グリ・海外演奏旅行

## 積み立て口座開設準備進む

再来年以降の実現を目指して、現在色々の可能性を探っている稲グリ海外演奏旅行のための個人旅行費を稲グリで別口座を開設して積み立ての便宜と意識高揚を図ろうと、会計でその準備を進めている。既に五十四年卒富士銀行勤務の篠松次郎さんの協力を得て、口座を確保しているが、自動引落し等の手続き案内書完成を待つてメンバーに呼びかけることとなっている。

現在の見通しでは、年明けの一月に募集開始をして、二月から実施という運びである。

ハワイかモスクワか、はたまたヨーロッパか。それともやっぱり台湾へのグルメ演奏旅行か。家族の思惑も入り乱れていよいよ来年から積み立てスタート!

■口座名  
「稲グリ海外演奏旅行基金」  
富士銀行赤坂アークヒルズ支店  
普通 五七一―三三三

《三十六年卒同期エジプト旅行便乗記》

### 早朝、ピラミッドの風景は 光と砂との交響詩だった

B. 辻田 行男(三七)

三十六年卒の長沢先輩工事を担当した「教育文化センター」(オペラハウス)の竣工の機会に同期生が中心となって企画されたオペラハウスとエジプト遺跡を見学する旅に参加した。参加者は、坂口先輩(三六)、金子先輩(三六)、藤田先輩(三六)、夫妻、山下(三七)、奈良原先輩(三六)、夫人など、男性六名、女性十二名、総勢十八名であった。

十月五日(水)から十四日(金)までの間で、機中二泊、カイロ三泊、ルクソール三泊、アスワン一泊の行程であった。金子先輩の好リードのお陰で、極めて快適な旅であった。

「教育文化センター」はカイロの中心、ゲジラ島にあって、砂と排気ガスに薄汚れた背景の中で、ややクリーム色を帯びた白大理石で光り輝いていた。

岡村喬生先輩の同オペラハウスの竣工記念演奏会は、約四百人

入ると思われる小ホールを満席にして開かれた。前半はやや抑えた歌い振りであったが、後半のチャイコフスキーの歌、日本の歌では大層雰囲気盛り上がり、アンコールが三曲歌われた。

旅行中特に印象的だったことを二題。

その一は、アスワンで帆掛け船に乗って出かけたナイル周航の帰途のこと。宵闇迫る水上に響き渡るコーランの詠唱、それに釣られて歌ったグリーの愛唱歌と日本の童謡、岸辺の子供達との歌の掛け合いなど、心に刻まれる水と光りと音の風景であった。

その二。坂口先輩が、人の居な

いピラミッドが見たいというので、ナイル上流からカイロへ戻った翌朝、松江のご婦人二人も誘って出かけたときのこと。早朝の人気のないピラミッドは神々しかった。砂漠の中に三角の大きなシルエツトが三つ。その向こうで光りの球がぐんぐん輝きを増し、景色の彩りを交えていく。光と砂との交響詩と譬えようか。古代エジプト人が太陽を神と感じたのも当然と思えた。松江のご婦人から早朝のピラミッドが今回の旅行で一番良かったとお手紙を頂いている。 完

祝・東京クローバークラブ創立三十周年記念演奏会

### オンスステ八十五名の大ステージ

#### ——クローバークラブの心意がここに——

十一月十一日(土)、五反田のゆうぼうと簡易保険ホールで、東京クローバークラブ創立三十周年記念演奏会が盛大に開かれた。第一ステージ、デュオエバの「荘厳ミサ」では、関西地区から三十名

力に客席も沸く。このステージは演技付きだから

### 新境地開拓か——委嘱作品成功

#### ——意欲的な桜楓合唱団定期演奏会——

今年度の委嘱作品を二ステージ盛り込んだ桜楓合唱団第十九回定期演奏会が、十一月十七日(木)新宿文化センターで開かれた。(指揮 田中 信昭氏)

四ステージともしつかりしたプログラムで年々実力をつけていることを示している。特に、本年度委嘱作品の一つ、第四ステージの「秋来ぬと」(塵秘抄より柴田南雄曲)では、客演の琴の音と女声合唱とが互いに支え合っ

て、高く低く響き競い、その音の動きの先端が目に見えてくるような不思議な世界を感じさせた。このステージは桜楓の新しい境地を切り開いていくのかもしれない。いつもながら真面目な中に自信と力を秘めたステージに、昨年に増してますます頼もしく感じる。メンバーの努力が見事に実って立派に成功した演奏会であった。(E)



三越劇場新春公演 東宝芸能提携

近松門左衛門 原作より

和風ミュージカル

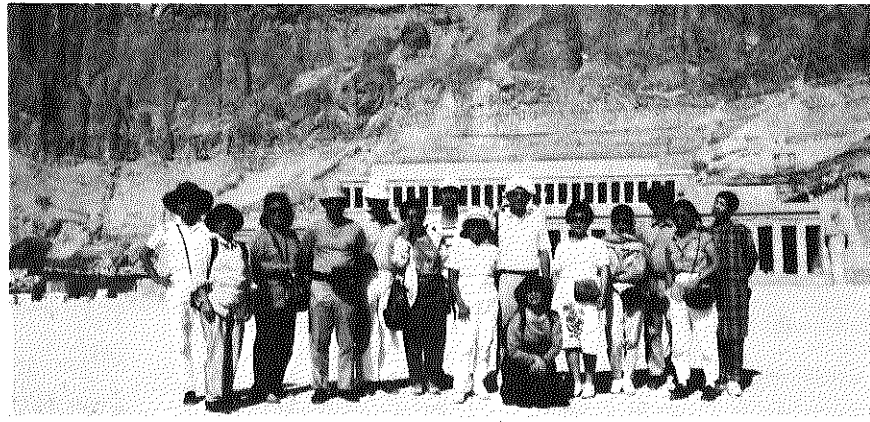
### さらら雪ざれの明日香へ

脚本：山路 洋平 演出：高島 忠夫  
新年1月4日(水)～25日(水)  
入場料：5,000円(全席指定)

**MITSUKOSHI**  
三越劇場 日本橋三越本店6階 電話/03-241-3311(大代表)

### 編集後記

右欄のお知らせは、大阪稲グリの山路さん(三二)の脚本によるものです。ご覧あれ。  
稲グリ幹事の一人佐藤公俊さん(四八)が十一月十三日、十四歳年下の房子さんと結婚ゴールイン。メンバー十七名がヤケクソで披露宴に出席しました。イイなあ。  
今、二十一日の午前四時。他の編集子も行事多忙のため完全一人作業となったためです。誤字、脱字紙面の見にくさご勘弁下さい。(E)



「教育文化センター」前での記念撮影